

岡山県知事  
伊原木 隆太 殿

〔設置者の名称〕 学校法人 岡山理容美容専門学校  
〔代表者の役職〕 理 事 長 岡 田 浩 明

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	岡山県理容美容専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校 <b>専門学校</b> )
大学等の所在地	岡山市北区大元二丁目 6 番 5 号
学長又は校長の氏名	校 長 西 澤 幸 司
設置者の名称	学校法人 岡山理容美容学園
設置者の主たる事務所の所在地	岡山市北区大元二丁目 6 番 5 号
設置者の代表者の氏名	理 事 長 岡 田 浩 明
申請書を公表する予定のホームページアドレス	<a href="https://www.oka-kenribi.ac.jp">https://www.oka-kenribi.ac.jp</a>

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

更新確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。

確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。

大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	教頭 北村 宣幸	(086)241-2807	kitamura@oka-kenribi.ac.jp
第2号の1	教頭 北村 宣幸	(086)241-2807	kitamura@oka-kenribi.ac.jp
第2号の2	教頭 北村 宣幸	(086)241-2807	kitamura@oka-kenribi.ac.jp
第2号の3	教頭 北村 宣幸	(086)241-2807	kitamura@oka-kenribi.ac.jp
第2号の4	教頭 北村 宣幸	(086)241-2807	kitamura@oka-kenribi.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(3)②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(4)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	岡山県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岡山理容美容学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	218,073,513 円	189,184,697 円	28,888,816 円
申請2年度前の決算	224,817,900 円	208,597,722 円	16,220,178 円
申請3年度前の決算	220,247,529 円	193,034,835 円	27,212,694 円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	1,790,057,840 円	11,820,227 円	1,778,237,613 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	320 人	261 人	81%
前年度	320 人	236 人	73%
前々年度	320 人	239 人	74%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
特定資産	施設設備引当特定資産 減価償却引当特定資産 退職給与引当特定資産	743,142,063 円
有価証券		853,830,517 円
現金預金		193,085,260 円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
未払金		11,820,227 円
		円
		円

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岡山県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岡山理容美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
理容美容専門課程	理容科	夜・通信	50	6	
		夜・通信			
理容美容専門課程	美容科 美容コース	夜・通信	50	6	
	美容科 トータルビューティーコース	夜・通信	53	6	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校にて閲覧可能
----------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岡山理容美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校にて閲覧可能
----------

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理容組合 理事長	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営および運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	理容組合 副理事長	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営および運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	理容組合 副理事長	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営および運営の為の協議、検討並びに推進
非常勤	美容組合 理事長	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営および運営の為の協議、検討並びに推進

非常勤	美容組合 副理事長	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営お よび運営の為の協 議、検討並びに推進
非常勤	美容組合 副理事長	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営お よび運営の為の協 議、検討並びに推進
非常勤	元県職員	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営お よび運営の為の協 議、検討並びに推進
非常勤	元県職員	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営お よび運営の為の協 議、検討並びに推進
非常勤	美容組合 教育部長	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営お よび運営の為の協 議、検討並びに推進
非常勤	美容組合 教育部長	2018. 7.16～ 2021. 7.16	健全な学校経営お よび運営の為の協 議、検討並びに推進
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岡山理容美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業の1単位時間は50分を標準とし、教科課目の特質に応じて、授業の形態内容(学科・実技等)に合わせて実施している。</p> <p>理容師、美容師国家試験合格基準を到達目標とし、必要に応じて教育課程編成委員会等において協議した上で授業計画を作成している。</p> <p>指導計画書は、年度はじめにおいて学生に明示すると共に、随時本校において閲覧可能とする。</p>	
授業計画書の公表方法	本校にて本文の閲覧可能
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

入学後に学生に対し担任面談をおこない、学校生活の充実度や学習意欲を把握確認している。

また、年間を通して定期試験を行い、随時授業の学習成果を厳正かつ適正にはかっており、優(100点~90点)、良(89点~70点)、可(69点~60点)不可(59点~)と評価している。学年を通じて可以上の評価を得た学生には当該科目において単位を与えるものである。

また、不可になった学生に対しては追試、再試またはレポート作成をさせるなどで単位を認定している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

年間を通して定期試験をおこない理容科、美容科美容コース、美容科トータルビューティーコースのそれぞれにおいて、全履修科目での総得点をもって学生個人の成績として順位を出し、成績の分布状況を把握している。

また、①定期試験回毎、②前期(4月~9月)終了時点、③後期(10月~3月)終了時点④学年終了時点(4月~3月)において集計し、①~④の結果を学生に対し成績評価として示している。

また、以上の成績評価の指標を本校にて自由閲覧とする。

\*本試験をもって成績分布を把握するものであり、進級・卒業の為におこなう再試験の結果は成績分布に反映させない

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

本校にて本文の閲覧可能

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。



(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

理容師法養成施設指定規則、美容師法養成施設指定規則に定められた教科課目および単位数に対し、数値化した成績考査（定期試験等）を実施した上で単位を与え、履修時間の条件を満たした学生に卒業を認定するのものとしている。

また、履修が十分でない場合においても、欠席が必要履修時間数（学科では1／3、実習を伴う課目1／5）以内となるよう補講補習を行った上で卒業を認めている。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

本校にて本文の閲覧可能

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岡山県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岡山理容美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校 HP <a href="https://www.oka-kenribi.ac.jp/">https://www.oka-kenribi.ac.jp/</a>
収支計算書又は損益計算書	開示請求があれば書面にて閲覧可能
財産目録	本校にて閲覧可能
事業報告書	本校にて閲覧可能
監事による監査報告（書）	本校にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報（理容科）

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		理容美容専門課程	理容科(単位制)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位	23 単位	1 単位	30 単位	0 単位	13 単位
			67単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		27人	0人	4人	19人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業の1単位時間は50分を標準とし、教科課目の特質に応じて、授業の形態内容（学科・実技等）に合わせて実施している。

<p>理容師美容師国家試験合格基準を到達目標とし、必要に応じて教育課程編成委員会等において協議した上で授業計画を作成している。</p> <p>随時本校において指導計画書を自由に閲覧可能としている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>年間を通して定期試験をおこない、全履修課目での総得点をもって学生個人の成績として順位を出し、成績の分布状況を把握している。</p> <p>また、①定期試験回毎、②前期（４月～９月）終了時点、③後期（１０月～３月）終了時点④学年終了時点（４月～３月）において集計し、①～④の結果を学生に対し成績評価として示している。</p> <p>以上の成績評価の指標を本校にて自由閲覧とする。</p> <p>入学後に学生に対し担任面談をおこない、学校生活の充実度や学習意欲を把握確認している。</p> <p>年間を通して定期試験を行い、随時授業の学習成果を厳正かつ適正にはかっており、優（１００点～９０点）、良（８９点～７０点）、可（６９点～６０点）不可（５９点～）と評価している。学年を通じて可以上の評価を得た学生には当該課目において単位を与えるものである。</p> <p>また、不可になった学生に対しては追試、再試またはレポート作成をさせるなどで単位を認定している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>理容師法養成施設指定規則に定められた教科課目および単位数に対し、数値化した成績考査（定期試験等）を実施した上で単位を与え、履修時間の条件を満たした学生に卒業を認定するものとしている。</p> <p>また、履修が十分でない場合においても、欠席が必要履修時間数（学科では１／３、実習を伴う課目１／５）以内となるよう補講補習を行った上で卒業を認めている。</p> <p>随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>入学後、随時学生に対して担任面談をおこない、学生生活の充実度や学習意欲を確認している。また学習効果を上げる為、必要に応じて学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において協議確認しながら学校運営につなげている。</p> <p>随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	11人 (91.7%)	1人 (8.3%)
（主な就職、業界等） 理容所 理容業界全般			
（就職指導内容） 4月において就職ガイダンスを実施しその後、随時個々の学生に履歴書作成、面接の指導をおこなっている			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理容師免許・専門士・JNEC ネイリスト技能検定3級・SBS 接客マナー検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	1人	3.4%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合、進路変更 ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） 随時、担任面談・三者面談・退学希望者に休学や通信課程の転入を促す		

## 2. 教育活動に係る情報 (美容科 美容コース)

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		理容美容専門 課程	美容科 美容コース (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位	23 単位	1 単位	30 単位	0 単位	13 単位
			67単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		234人	0人	9人	12人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業の1単位時間は50分を標準とし、教科課目の特質に応じて、授業の形態内容(学科・実技等)に合わせて実施している。</p> <p>理容師美容師国家試験合格基準を到達目標とし、必要に応じて教育課程編成委員会等において協議した上で授業計画を作成している。</p> <p>随時本校において指導計画書を自由に閲覧可能としている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>年間を通して定期試験をおこない、全履修課目での総得点をもって学生個人の成績として順位を出し、成績の分布状況を把握している。</p> <p>また、①定期試験回毎、②前期(4月～9月)終了時点、③後期(10月～3月)終了時点④学年終了時点(4月～3月)において集計し、①～④の結果を学生に対し成績評価として示している。</p> <p>以上の成績評価の指標を本校にて自由閲覧とする。</p> <p>入学後に学生に対し担任面談をおこない、学校生活の充実度や学習意欲を把握確認している。</p> <p>また、年間を通して定期試験を行い、随時授業の学習成果を厳正かつ適正にはかつており、優(100点～90点)、良(89点～70点)、可(69点～60点)不可(59点～)と評価している。学年を通じて可以上の</p>

<p>評価を得た学生には当該課目において単位を与えるものである。</p> <p>また、不可になった学生に対しては追試、再試またはレポート作成をさせるなどで単位を認定している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>美容師法養成施設指定規則に定められた教科課目および単位数に対し、数値化した成績考査(定期試験等)を実施した上で単位を与え、履修時間の条件を満たした学生に卒業を認定するものとしている。</p> <p>また、履修が十分でない場合においても、欠席が必要履修時間数(学科では1/3、実習を伴う課目1/5)以内となるよう補講補習を行った上で卒業を認めている。</p> <p>随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>入学後、随時学生に対して担任面談をおこない、学生生活の充実度や学習意欲を確認している。また学習効果を上げる為、必要に応じて学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において協議確認しながら学校運営につなげている。</p> <p>随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
85人 (100%)	0人 (0%)	84人 (98.8%)	1人 (1.2%)
(主な就職、業界等)			
美容所 美容業界全般			
(就職指導内容)			
4月において就職ガイダンスを実施しその後、随時個々の学生に履歴書作成、面接の指導をおこなっている			
(主な学修成果(資格・検定等))			
美容師免許・専門士・JNEC ネイリスト技能検定3級・SBS 接客マナー検定3級 SBSメイクディクター2級・SBSエステディクター2級・SBS着付ディクター2級/1級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状
---------

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
209 人	9 人	4.3%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、進路変更 ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時、担任面談・三者面談・退学希望者に休学や通信課程の転入を促す		

## 2. 教育活動に係る情報 (美容科 トータルビューティークース)

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		理容美容専門課程	美容科トータルビューティークース (単位制)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位	20 単位	0 単位	30 単位	0 単位	17 単位
			67単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		234人	0人	9人	12人	21人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>授業の1単位時間は50分を標準とし、教科課目の特質に応じて、授業の形態内容(学科・実技等)に合わせて実施している。</p> <p>理容師美容師国家試験合格基準を到達目標とし、必要に応じて教育課程編成委員会等において協議した上で授業計画を作成している。</p> <p>随時本校において指導計画書を自由に閲覧可能としている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>年間を通して定期試験をおこない、全履修課目での総得点をもって学生個人の成績として順位を出し、成績の分布状況を把握している。</p> <p>また、①定期試験回毎、②前期(4月～9月)終了時点、③後期(10月～3月)終了時点④学年終了時点(4月～3月)において集計し、①～④の結果を学生に対し成績評価として示している。</p> <p>以上の成績評価の指標を本校にて自由閲覧とする。</p> <p>入学後に学生に対し担任面談をおこない、学校生活の充実度や学習意欲を把握確認している。</p> <p>年間を通して定期試験を行い、随時授業の学習成果を厳正かつ適正にはかっており、優(100点～90点)、良(89点～70点)、可(69点～60点)不可(59点～)と評価している。学年を通じて可以上の評価</p>



<p>を得た学生には当該課目において単位を与えるものである。</p> <p>また、不可になった学生に対しては追試、再試またはレポート作成をさせるなどで単位を認定している。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>美容師法養成施設指定規則に定められた教科課目および単位数に対し、数値化した成績考査(定期試験等)を実施した上で単位を与え、履修時間の条件を満たした学生に卒業を認定するものとしている。</p> <p>また、履修が十分でない場合においても、欠席が必要履修時間数(学科では1/3、実習を伴う課目1/5)以内となるよう補講補習を行った上で卒業を認めている。</p> <p>随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>入学後、随時学生に対して担任面談をおこない、学生生活の充実度や学習意欲を確認している。また学習効果を上げる為、必要に応じて学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において協議確認しながら学校運営につなげている。</p> <p>随時、本校において本書を閲覧可能としている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
85人 (100%)	0人 (0%)	84人 (98.8%)	1人 (1.2%)
(主な就職、業界等)			
美容所 美容業界全般			
(就職指導内容)			
4月において就職ガイダンスを実施しその後、随時個々の学生に履歴書作成、面接の指導をおこなっている			
(主な学修成果(資格・検定等))			
美容師免許・専門士・JNEC ネイリスト技能検定3級・SBS 接客マナー検定3級 SBSメイクディレクター2級・SBSエステディレクター2級/1級・SBS着付ディレクター2級/1級 JNAジェルネイル技能検定初級・パーソナルカラー検定3級・メイク検定プラクティカル級(JMPA認定)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
209人	9人	4.3%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合、進路変更 ほか		
(中退防止・中退者支援のための取組) 随時、担任面談・三者面談・退学希望者に休学や通信課程の転入を促す		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	200,000 円	360,000 円	240,000 円	「その他」 実習費 20000 円/月
美容科 美容コース	200,000 円	360,000 円	240,000 円	「その他」 実習費 20000 円/月
美容科 トータルビュー ティーコース	200,000 円	360,000 円	240,000 円	「その他」 実習費 20000 円/月
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.oka-kenribi.ac.jp/">https://www.oka-kenribi.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校評価を通じた組織的・継続的な教育活動等の改善を目的とする。</p> <p>生徒・卒業生、関係業界等の地域のステークホルダーとの連携協力による特色ある専修学校づくりを推進していく。</p> <p>評価項目として、①教育理念・目的・人材育成像 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の受入れ募集 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献 ⑪国際交流 (必要に応じて) に関することに対して指標を検討する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業 界 (本校同窓会)	1 年	卒業生
理美商社 (業 界 関 連)	1 年	業界関連商社役員
高等学校 (学 校 現 場)	1 年	学校長
主 婦 (保 護 者)	1 年	保護者

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.oka-kenribi.ac.jp/">https://www.oka-kenribi.ac.jp/</a>
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.oka-kenribi.ac.jp/">https://www.oka-kenribi.ac.jp/</a>
--